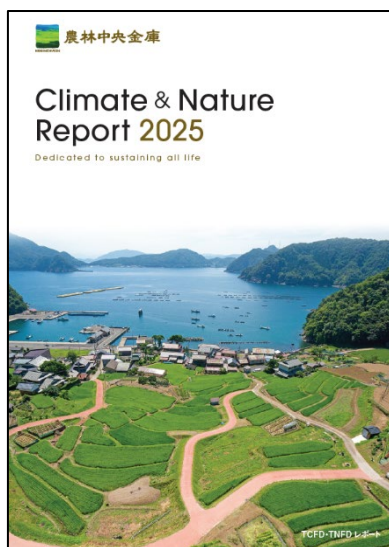




「Climate & Nature レポート 2025」の発行について

農林中央金庫（代表理事理事長：北林 太郎、以下、「当金庫」）は、本日「Climate & Nature レポート 2025」（以下、「本レポート」）を発行し、当金庫のホームページに掲載いたしましたのでお知らせいたします。



1. 本レポート作成の背景

気候変動と自然の劣化が加速する中で、当金庫の基盤である農林水産業を取り巻く情勢は大きく変化しています。こうした情勢を踏まえて、当金庫は農林水産業と密接にかかわる気候と自然を「ビジネスリスク」として認識し、事業活動の外側ではなく、組織・事業戦略およびリスクマネジメントの中核に据えることの重要性を強く意識し、昨年度より気候と自然の統合開示に取り組んでいます。

2025 年度版の本レポートでは、国内外での気候と自然にかかる議論および当金庫の方針や取組みにかかるアップデートを盛り込んでおります。

2. 本レポートの主なポイント

- 本レポートは昨年度に引き続き、気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言および自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）提言を踏まえ、当金庫の気候・自然に関する取組みを、可能な限り一体的に開示しています。
- 大学・スタートアップとの連携によるサプライチェーン分析、ライフサイクルアセスメント（LIME 3）を活用したネイチャーフットプリントの計測対象拡充等を進め、ポートフォリオにおける自然への依存とインパクトの評価の高度化を図っています。
- TNFD 等が重視する「ランドスケープアプローチ」（地理的・生態系的な視点を取り入れた統合的アプローチ）について、会員との連携プロジェクトを題材に農林水産業との関連性や今後の発展について検討を行っています。
- 農林水産業を基盤とする当金庫として今後より一層戦略的に取組むこととしている食農バリューチェーンのトランジション（移行）について、足元の考え方の整理や関連する取組みの紹介を行っています。

詳細については、以下の URL よりご覧ください。

掲載 URL : <https://www.nochubank.or.jp/sustainability/disclosure/report/>

当金庫は、「持てるすべてを「いのち」に向けて。～ステークホルダーのみなさまとともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます～」をパーパス（私たちの存在意義）に定めています。当金庫は、パーパスの実現に向けて、今後も様々な環境・社会課題の解決と情報開示の推進に取り組んでまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 経営企画部 広報コミュニケーション班

（藏方・丹羽） Tel : 03-6362-7172